

## 5. 取り付け方法（取り付け業者様向け） 必ずお読み下さい

### メーター別警告事項（取り付け業者様向け）

#### TURBO

#### 警告

配管する際は、ゴムホースが抜けないように、接続部分を市販のホースバンドまたはタイラップで固定してください。  
ゴムホースが抜けたまま走行するとエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

#### OIL PRESS.

#### 警告

センサー取り付け作業を行う際は、オイル漏れを起こさないようにシールテープを巻き、確実に取り付けてください。また、走行前には、必ずパイプやセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。  
取付け作業によって抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。  
センサーの断線を防止するため、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

#### WATER TEMP.

#### 警告

センサー取り付け作業を行う際は、水漏れを起こさないようにシールテープを巻き、市販のセンサーアタッチメントとアッパーホースを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には、必ずホースやセンサーアタッチメントに水漏れがないか点検してください。  
水が漏れたまま走行すると、エンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。  
取付け作業によって抜けた分の冷却水は必ず補充しエア抜きを行ってください。  
冷却水が少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。  
センサーの断線を防止するため、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

## 必ずお読み下さい

#### FUEL PRESS.

#### 警告

センサー取り付け作業を行う際は、燃料漏れを起こさないようにシールテープを巻き、市販のホースユニオンとフューエルフィードパイプを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずパイプやホースユニオンに燃料漏れがないか点検してください。  
燃料が漏れたまま走行すると、火災やエンジン破損を引き起こす可能性があり、大変危険です。  
フューエルフィードパイプを切断する前に必ず給油口を開けてフューエルタンク内の圧力を下げてください。燃料が吹き出す恐れがあり大変危険です。  
フューエルフィードパイプを切断する際は、必ず除電して作業を行ってください。燃料に引火する恐れがあり、大変危険です。  
センサーの断線を防止するため、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

#### EXHAUST TEMP.

#### 警告

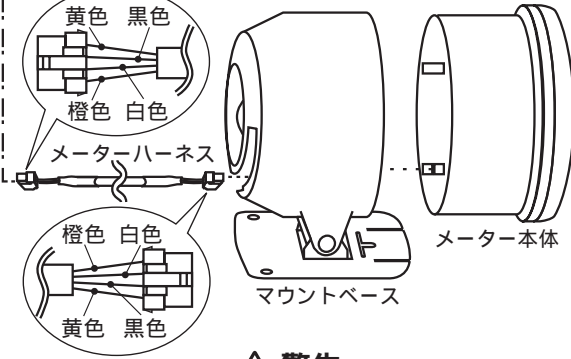
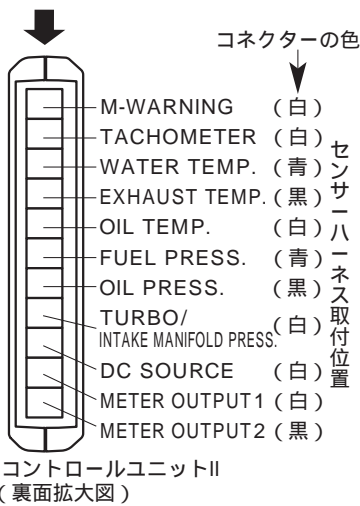
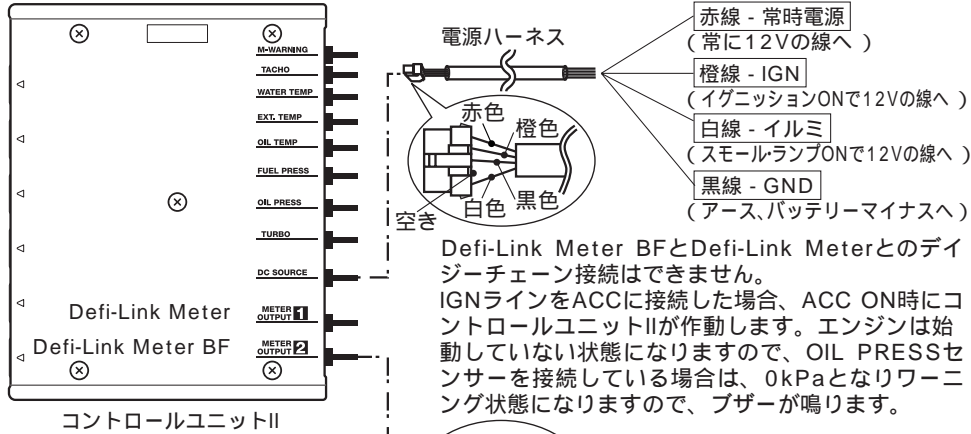
センサーを取り付ける穴を開ける際は、エキゾーストパイプや過給機などの中に切削屑などを残さないでください。エキゾーストパイプや過給機、エンジンの破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

その他、各項目ごとに警告・確認事項を掲載しておりますので、必ずお読みください。

最新の取付方法は、当社ホームページに掲載しておりますので、御確認ください。  
<http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/>

## 配線全体図 (取り付け業者様向け)

### 配線全体図



### 警告

取り付け・取り扱いについては、P.2~P.5、P.23・P.24、をよくお読みいただき、安全に、正しくお取り付けください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落や車両破損の原因となり、大変危険です。

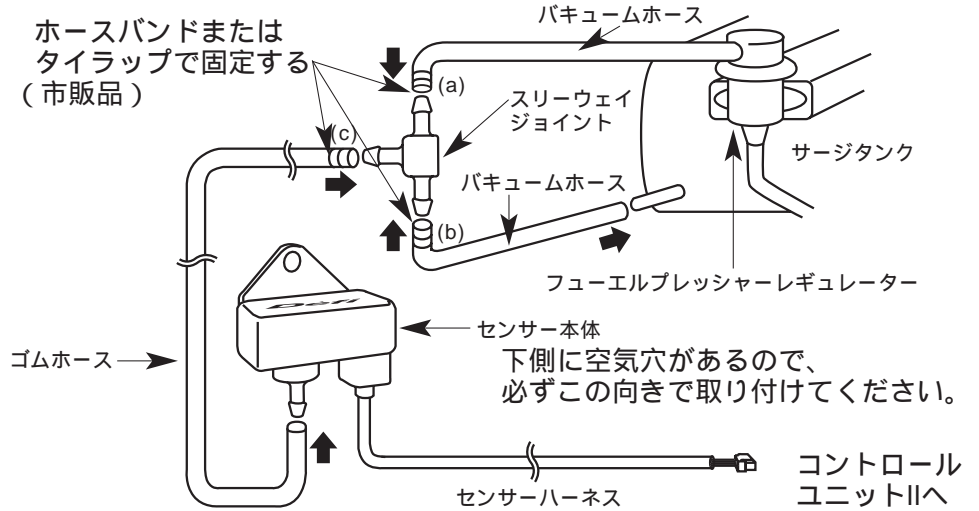
### 確認

コントロールユニットIIの側面に記載されているセンサーの種類と合ったセンサーハーネスのカプラーを差し込んでください。間違えて差し込んだ場合、正常な動作はできません。カプラーを抜く際は、カプラーのロックを確実に押してから抜いてください。INTAKE MANIFOLD PRESS.のセンサーは、TURBO(白)に差し込んでください。

## センサーの取り付け方法 (取り付け業者様向け)

### TURBO.

### INTAKE MANIFOLD PRESS.



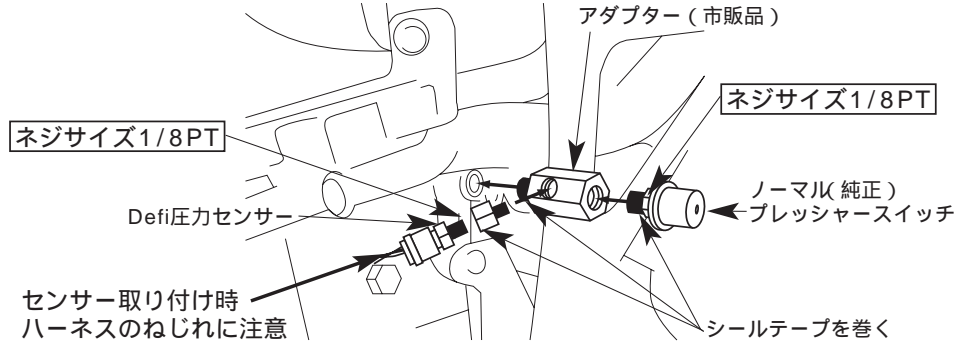
1. センサーを付属のゴムホースができるだけ短くなるように、エンジンルーム内 (振動、熱のない場所) にボルト (M6) などで固定します。
2. 吸気圧は、サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーター間から取ります。
  - 1) 脈動の少ないサージタンク側のバキュームホースを外し、スリーウェイジョイント (b) [または (a)] と接続します。
  - 2) サージタンクとスリーウェイジョイント (a) [または (b)] をつなぐのに必要な長さを、付属のゴムホースより切って使用します。(付属のゴムホースがサージタンクの径と合わない場合は、バキュームホースを途中で切断してご使用ください。)
  - 3) 残った付属のゴムホースで、センサーとスリーウェイジョイント (c) を接続します。

### 確認

センサーは、付属のゴムホースとの接続部分が確実に下向きになる様に取り付けてください。付属のゴムホースの長さは500 なので、その範囲で調整してください。サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーターの間にはソレノイドバルブがある車種は、ソレノイドの手前にスリーウェイジョイントを付けてください。

IGNラインをACCから接続した場合、ACC ON時にコントロールユニットが作動します。エンジンは始動していない状態になりますので、OIL PRESSセンサーを接続している場合は、0kPaとなりワーニング状態になりますので、ブザーが鳴ります。

## OIL PRESS. (市販品アダプターを使用)



1. エンジンブロックに取り付けられている、プレッシャースイッチを探します。
  2. 探したプレッシャースイッチを取り外します。
  3. 市販のアダプターをネジ部 (1/8PT) にシールテープを巻き、プレッシャースイッチを外した穴に取り付けます。
  4. プレッシャースイッチ及び付属の圧力センサーを、ネジ部 (1/8PT) にシールテープを巻き、市販のアダプターに取り付けます。
  5. エンジンを始動させ、圧力センサー部からエンジンオイルが漏れていないことを確認します。
- 他の方法でセンサーを取り付けられる場合は、Defiお客様相談室にお問い合わせください。

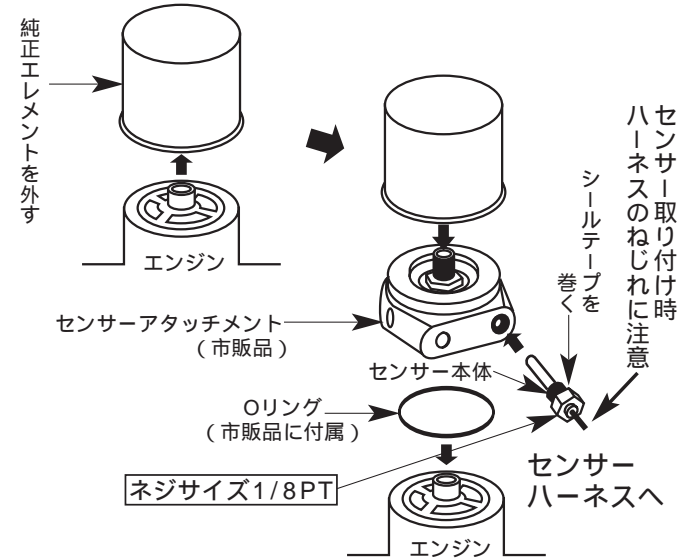
### 警告

センサーを取り付けの際に、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。取り付け作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。

### 確認

お勧めしますセンサーアタッチメントのネジサイズは、1/8PTです。ネジサイズが1/8PTでない場合、変換アダプターが別途必要となります。お買い上げのお店にご相談ください。始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

## OIL TEMP. (市販品センサーアタッチメントを使用)



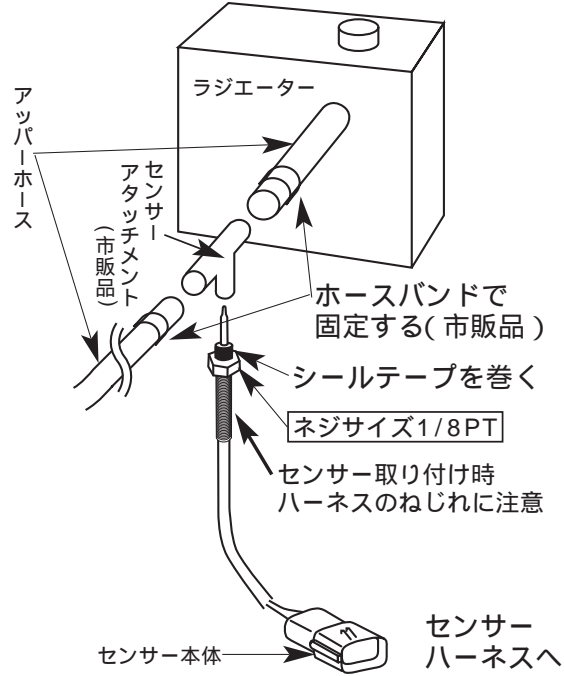
### 警告

センサーを取り付けの際に、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。取り付け作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。

### 確認

お勧めしますセンサーアタッチメントのネジサイズは、1/8PTです。ネジサイズが1/8PTでない場合、変換アダプターが別途必要となります。お買い上げのお店にご相談ください。始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

**WATER TEMP.**  
(市販品センサーアタッチメントを使用)



アップパーホースをカットして、エアだまりを防ぐため、センサーアタッチメントを下または横向けに取り付ける

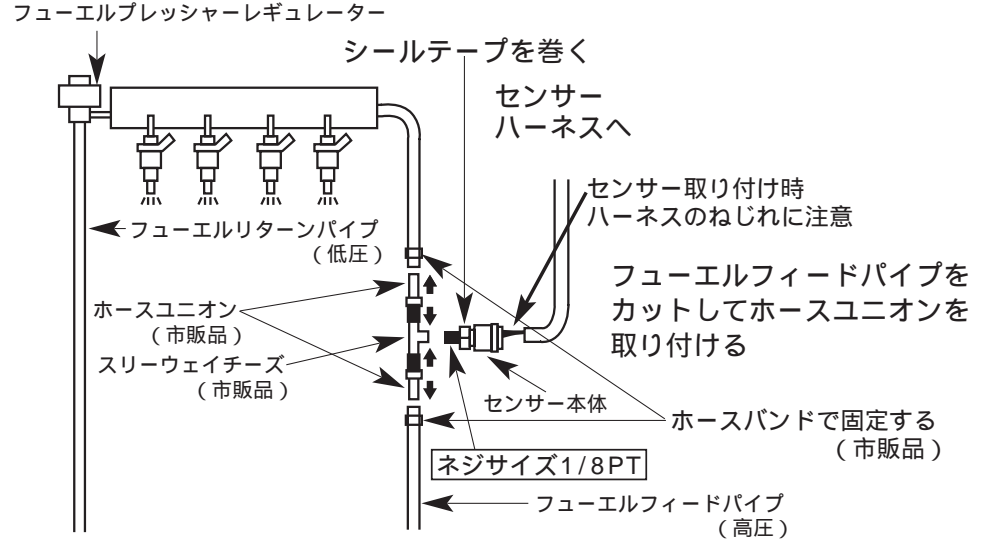
**警告**

センサーを取り付けの際に、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。取り付け作業によって抜けた分の冷却水は必ず補充し、エア抜きを行ってください。冷却水が少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。

**確認**

お勧めしますセンサーアタッチメントのネジサイズは、1/8PTです。ネジサイズが1/8PTでない場合、変換アダプターが別途必要となります。お買い上げのお店にご相談ください。始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

**FUEL PRESS.**  
(市販品スリーウェイチース、市販品ホースユニオンを使用)



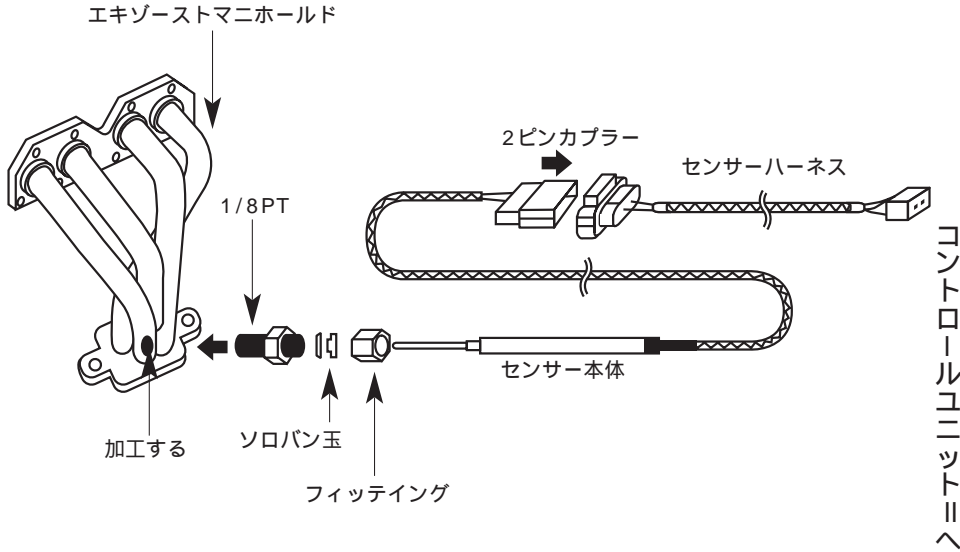
**警告**

センサーを取り付けの際に、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。フューエルフィードパイプを切断する前に、必ず給油口を開けて、フューエルタンク内の圧力を下げてください。燃料が吹き出す恐れがあり、大変危険です。フューエルフィードパイプを切断する際は必ず除電して作業を行ってください。燃料に引火する恐れがあり大変危険です。

**確認**

センサーは必ず、フューエルタンクからフューエルプレッシャーレギュレーター間のフィード (高圧) パイプ側へ取り付けてください。フューエルプレッシャーレギュレーター後のリターン (低圧) パイプ側では、正確な燃圧をとることが出来ません。お勧めしますホースユニオンとスリーウェイチースのネジサイズは、1/8PTです。ネジサイズが1/8PTでない場合、変換アダプターが別途必要となります。お買い上げのお店にご相談ください。始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

## EXHAUST TEMP.



1. フィッティングをバラし（中のソロバン玉を紛失しないように注意する）1/8PTのタップでネジ山を刻んだ所へ取り付けます。
2. センサー本体へ袋ネジとソロバン玉を通してフィッティングへ取り付けます。  
このときセンサーの先端部分（5～20mm）が、エキゾーストパイプなどの内径の中心へ来るように調整してください。

### 警告

センサーを取り付ける際は、エキゾーストパイプや過給機などの中に切削屑などを残さないでください。エキゾーストパイプや過給機、エンジンの破損を引き起こす恐れがあり大変危険です。

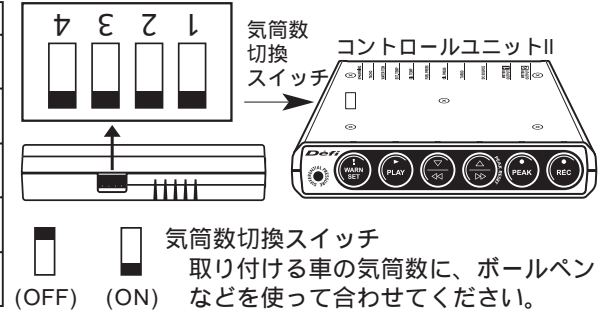
Defi-Link Meter BFにTACHOMETERはありません。

## TACHOMETER

### 1. 気筒数設定方法

（初期設定されていませんので、コントロールユニットII 左側面の気筒数切換スイッチを使用エンジンに合わせてセットします。3,4,5,6,8気筒以外の設定をした場合は、タコメーターがP49の「短絡（ショート）チェック機能」と同じ動作をします。）

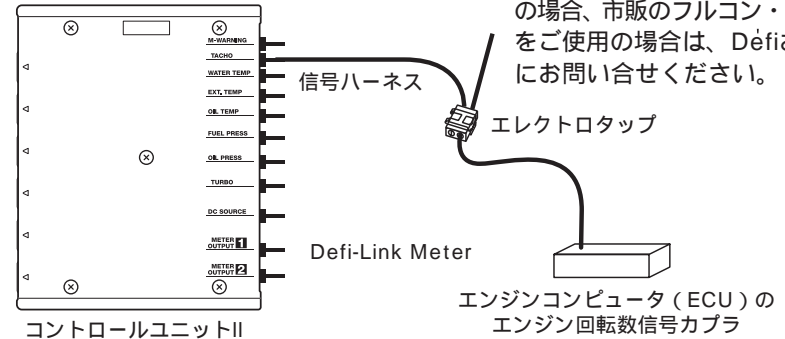
気筒数	スイッチ位置
3	
4	
5	
6	
8	



ロータリーエンジンの気筒数設定の際は2ローターは4気筒、3ローターは6気筒に気筒数切り換えスイッチで設定してください。

### 2. 信号ハーネスの取り付け方法

エンジンコンピュータ（ECU）の設置場所とエンジン回転数信号（TA）の位置については、DéfiホームページまたはDéfi取り付けマニュアルをご覧ください。  
純正装備のタコメーターを取り外した場合、または日産・三菱のタコメーターなし車の場合、市販のフルコン・点火システムをご使用の場合は、Défiお客様相談室にお問い合わせください。



ハンダ付けのやり方、エレクトロタップの使い方については、P33をご覧ください。

コントロールユニットIIの配線（取り付け業者様向け）

### 確認

ハンダ付けで火傷をしたり、配線にあたり手を切傷することがないように、手袋を着用してください。

ハンダ付けのやり方

(1) 配線の被覆を剥く



(2) 剥いた配線を巻き付ける



(3) ハンダを盛る

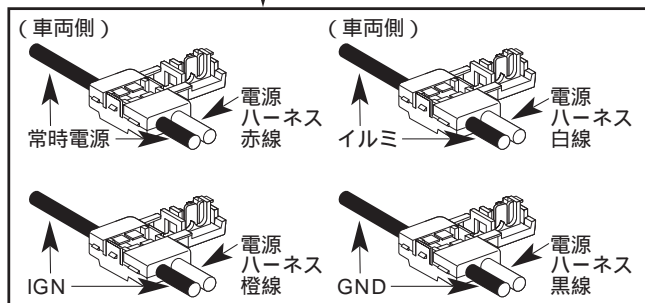
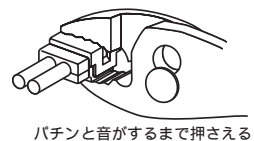
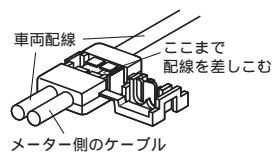
(ハンダがよく浸透したのを確認する)



(4) 絶縁テープをしっかりと巻く



エレクトロタップの使い方

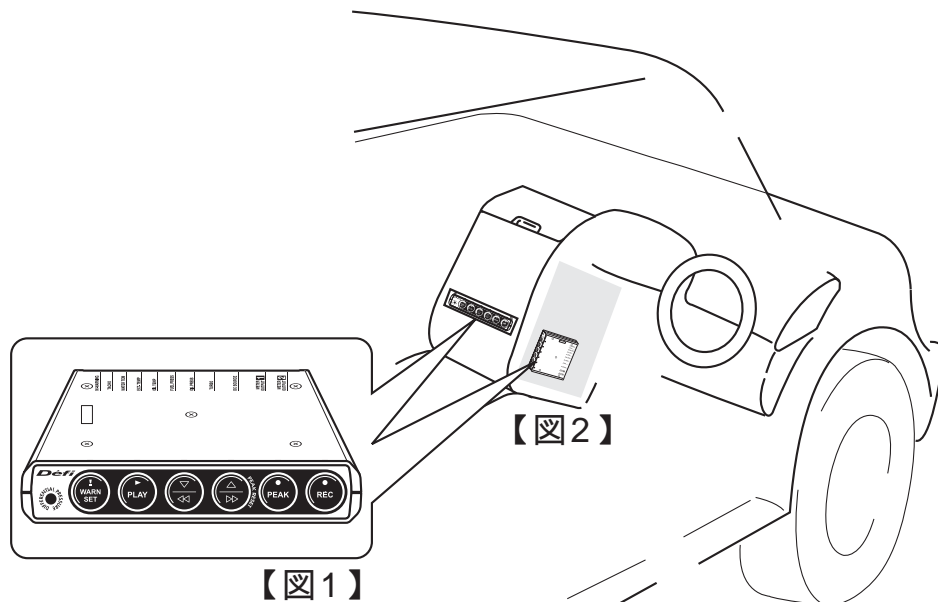


### 確認

配線する際は、出来るだけハンダ付けで行い、接触不良を起こさないように確実に配線してください。

コントロールユニットIIの取り付け方（取り付け業者様向け）

- ・コントロールユニットIIは1/2 DINサイズに設計されています。センターコンソールの空DINヘスマートに取り付けが可能です。



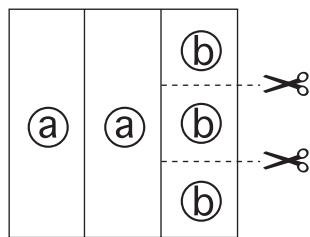
- ・付属の両面テープ3枚を、コントロールユニットIIの側面に貼り付けてください。【図1】
- ・コントロールユニットIIをなるべく平らな場所に貼り付けてください。【図2】

### 確認

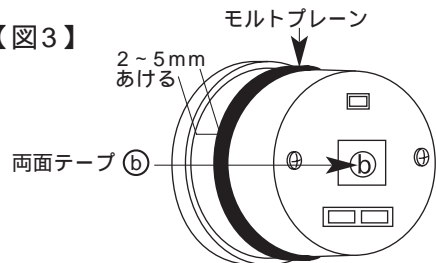
両面テープを貼る面は、市販のダッシュクリーナーを使って、ホコリ、汚れ、油分をよく拭き取ってください。

メーターの取り付け方 ( 52・60・80 )( 取り付け業者様向け )

【図1】



【図3】



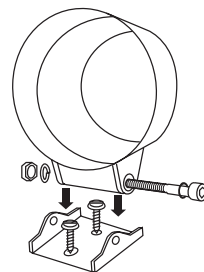
1. 付属の両面テープを切断します。【図1】
2. メーターホルダーの溝に取付金の凸部を挿入し、付属のボルト、ナットで締め付け、固定してください。【図2】
3. メーターに適切な長さに切ったモルトプレーンと両面テープ**⑥**の1枚を貼ります。【図3】
4. メーターホルダーの穴にハーネスを通してメーターに接続します。
5. メーターをメーターホルダーにセットします。  
(この時、各ハーネスが噛み込まないように注意してください。)
6. 取付金の裏面に付属の両面テープを貼り付け、取り付けたい場所の形状にあわせて、取付金を曲げて、貼り付けてください。【図4】  
脱落しないように、市販のタッピンネジで、取付金を固定してください。

**確認**

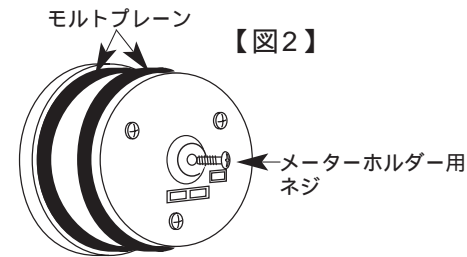
両面テープを貼る面は、市販のダッシュクリーナーを使って、ホコリ、汚れ、油分をよく拭き取ってください。

メーターの取り付け方 ( 115 )( 取り付け業者様向け )

【図1】



【図2】



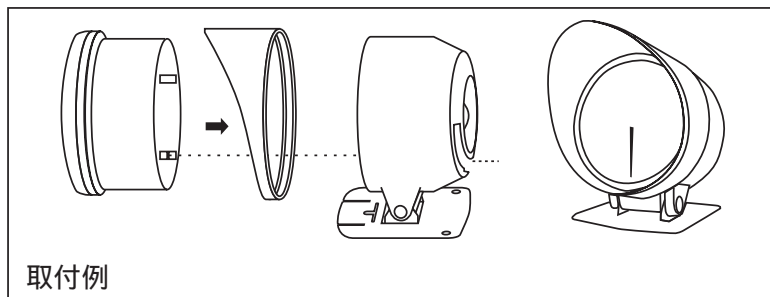
1. メーターホルダーの溝に取付金の凸部を挿入し、付属のボルト、ナット、スプリングワッシャーで仮止めしてください。(強く締めないでください。)
- 【図1】
2. メーターを取り付けたい場所に、取付金を付属のタッピンネジで固定してください。(メーターホルダーを回転させ、よけながらネジを固定してください。)
3. メーターホルダーを適切な方向に向け、ボルト、ナットで締め付け、固定してください。
4. メーターに適切な長さに切ったモルトプレーンを貼ります。(前部、後部の2ヶ所全周に貼ってください。)
- 【図2】
5. メーターホルダーの穴に、ハーネスを通してメーターに接続します。
6. メーターをメーターホルダーにセットします。  
(この時、各ハーネスが噛み込まないように注意してください。)
7. メーターホルダーの裏側からメーターとメーターホルダーをメーターホルダー用ネジで止めます。【図2】

インジケーターの取り付け方法については、P38をご参照ください。

メーターオプションパーツ（お客様・取り付け業者様向け）  
（メーター、メーターホルダーと組み合わせて装着する別売パーツです。）

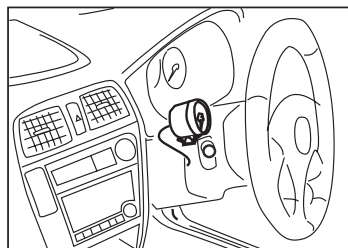
### シングルメーターバイザー〔 60 〕

フロントガラスに映るメーターの虚像をなくす為のパーツです。  
メーターとメーターホルダーにはさみ込み装着します。

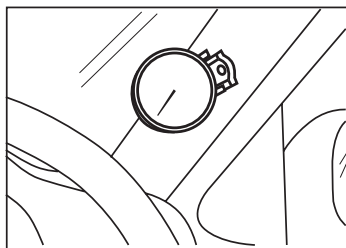


### フィッティングキット〔 52・ 60・ 80 〕

Defi-Link Meter BFやDefi-Link Meter をステアリングコラムやAピラーにスッキリとそして視認性よく装着する為のパーツです。  
メーターホルダーと組み合わせて装着します。



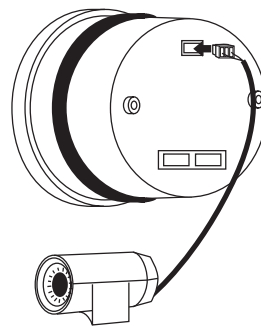
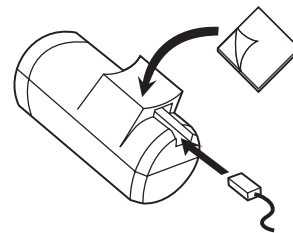
ステアリングコラム上



Aピラー

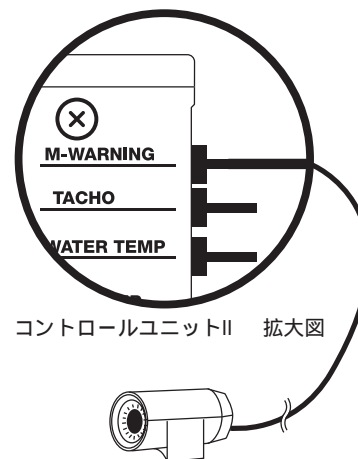
### インジケーター

・各メーターのインジケーターとしてご使用の場合



- 1.インジケーター本体の裏側に付属の両面テープを貼り付けます。  
（ 80・ 115メーターには、両面テープを2枚重ねて貼り付けます。）
- 2.付属のコードを本体に接続します。
- 3.メーターやインパネ部に貼り付けます。

・マスターワーニングとしてご使用の場合



- 1.インジケーターを付属のコードでコントロールユニットIIのM-WARNINGカプラーに接続します。
- 2.メーターやインパネ部に貼り付けます。

インジケーターをコントロールユニットIIのM-WARNINGカプラーに接続すると、接続されているメーターのいずれかのメーターがワーニングを発生した際にインジケーターが点滅し、ワーニングインジケーターとして利用できます。

## 取り付け最終確認項目（取り付け業者様向け）

### ⚠ 警告

最終仕上げとして、以下の項目を必ず実施してください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

取り付けた配管が確実に接続され、配管の差し忘れや誤配線、及び液漏れ・排気漏れがないか確認してください。

センサー本体やハーネスなどが、エンジンルーム内で作動装置（ラジエーターファン、スロットルボディなど）と干渉していないか確認してください。

センサー本体やハーネスなどが、点火系装置（イグニッションコイル、デストリビューター、プラグコードなど）を避けて配線されているか確認してください。

メーター本体やハーネスなどが、運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認してください。

メーター取り付けの際に取り外した、車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、もう一度確認してください。

### ⚠ 警告

作業終了後は必ず、運転席やエンジンルームに何も無いことを確認してください。運転席の足下に使用した工具類などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。エンジンルームに使用した工具があるとエンジン破損の恐れがあり大変危険です。

バッテリーのマイナス端子を、外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。

以上で、すべての取り付け作業は終了です。

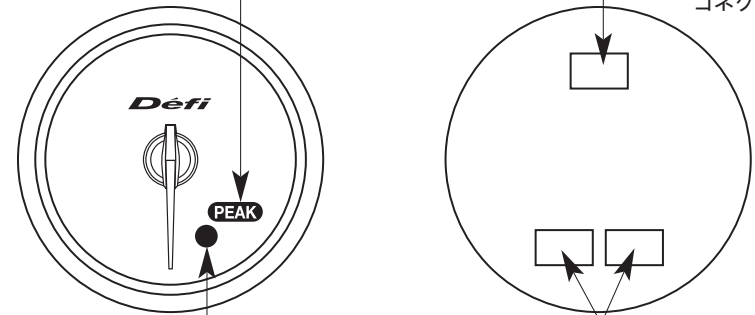
## 6. 操作方法（お客様向け）

次の注意事項をよくお読みの上、理解されてから本製品をご使用ください。  
各部の名称（お客様向け）

### [メーター]

PEAK L.E.D.（Defi-Link Meter BFは青、Defi-Link Meterは緑）

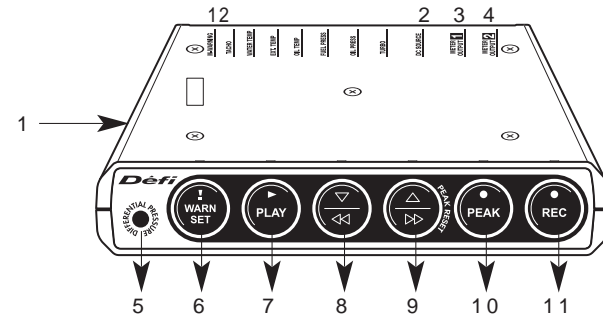
インジケーター用コネクター



WARNING L.E.D.（赤）

メーターハーネス用コネクター  
（どちらに接続してもかまいません）

### [コントロールユニットII]



- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 1 気筒数切替スイッチ         | 7 PLAYスイッチ                 |
| 2 電源ハーネス用コネクター      | 8 DOWNスイッチ                 |
| 3 メーターアウトプット1用コネクター | 9 UPスイッチ                   |
| 4 メーターアウトプット2用コネクター | 10 PEAKスイッチ                |
| 5 差圧表示モードLED        | 11 RECスイッチ                 |
| 6 WARNINGスイッチ       | 12 マスターワーニングインジケーター接続コネクター |

Defi-Link Meterは 3 メーターアウトプット1用コネクターに接続  
Defi-Link Meter BFは 4 メーターアウトプット2用コネクターに接続